Canon

Lens Accessory Focus Demand FDJ-G01

取扱説明書

ご使用の前に必ず「安全にお使いいただくために」をご覧になり、注意事項にそって 正しくご使用ください。

このたびは、フォーカスデマンド FDJ-G01 をお買い上げいただき、誠にありがとうご ざいます。このフォーカスデマンド FDJ-G01 は、箱型レンズのフォーカス操作をサー ボで行う際に使用するアクセサリーです。本デマンドを使用することで、フォーカス を遠隔操作することが可能になります。

本製品の取扱説明書の構成は下記の通りです。

- ・取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- 取扱説明書「規制」(製品同梱)
- 取扱説明書 (Web)

1 商品構成

ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。 不足品がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

- ・フォーカスデマンド本体
- ・クランパー(CR-30)
- ・デマンドケーブル・取扱説明書「はじめにお読みください」
- 取扱説明書「規制」

2 取付け・接続

- 1. フォーカスデマンドに付属されているクランパーの大小の締付けノブを緩めて、三脚のパ ン棒に取り付けます。
- 2. パン棒に取り付けたあと、クランパーの大小の締付けノブを締め、しっかりと固定します。
- 3. フォーカスデマンドとクランパーの各々の菊座を噛み合わせ、クランパーの取付けノブを 締め付けて、しっかりと固定します。
- 4. デマンドケーブルのコネクターをレンズ本体の後方底面側部にある "TO SERVO CONTROL"のコネクター部へ接続し、ケーブルの反対側はフォーカスデマンドのコネク ター部に接続します。

3 基本操作

3-1. フォーカス操作

操作ノブを回して、フォーカス操作を行います。操作ノブ側から見て時計方向に回すと無 限側の被写体に、反時計方向に回すと至近側の被写体に焦点(ピント)が合います。

3-2. 回転方向切替え

出荷時には、操作ノブ側から見て時計方向に回すと無限側に焦点が合うように設定されま す。ただし、フォーカスデマンドの回転方向切替えスイッチにより、無限/至近の方向を 切り替えることができます。

トルク調整つまみを回すことにより、フォーカスデマンドの回転トルクを変えることがで きます。

3-4. フォーカス特性カーブ選択

フォーカス特性カーブ選択スイッチにより、フォーカス移動の特性を直線と2種類の曲線 の3モードから選択できます。

Standard モード:

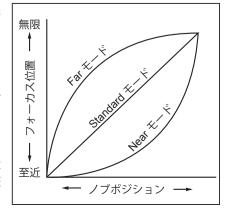
ノブの回転量に対して、フォーカスレンズ群が 直線的に移動する標準的な特性です。

Far モード:

ノブの回転量に対して、無限側に回すほどフォー カスレンズ群の移動量が少なくなるカーブ特性 です。無限側の微調整が容易になります。

Near モード :

Far モードとは反対に、ノブの回転量に対して、 至近側に回すほどフォーカスレンズ群の移動量 が少なくなるカーブ特性です。至近側の微調整 が容易になります。



98 17° 操作ノブ EXECスイッチ

4 応用操作・機能

[外観図]

以下の操作は、ディスプレイ上で AUX1/AUX2/EXEC スイッチに機能を割り付けることで使用 できる機能です。割付け方につきましては、「5 ディスプレイ操作」をご覧ください。

4-1. リターン操作

スイッチを押している間、送られてきた他のカメラの映像をビューファインダー上で確認 できます。リターン機能(RET1/RET2/RET3) を使用するには、機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッチのいずれかに割り付けることが必要です。(AUX2スイッチには工場出荷時にリター ン1機能が割り付けられています。)

4-2. メモリー操作

AUX1/AUX2/EXEC スイッチにフォーカスレンジリミット、ファインフォーカスモード 1、 コントロールレンジリミット、フォーカスプリセット機能を割り付けた際の設定に使用し ます。メモリー (以下 MEMO)機能を使用するには、機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッチの いずれかに割り付けることが必要です。(AUX1スイッチには工場出荷時に MEMO 機能が 割り付けられています。)

4-3. フォーカスプリセット操作

スイッチを押すと、現在の位置から、あらかじめ設定したフォーカス位置に移動します。 解除すると操作ノブの示す位置に戻ります。フォーカスプリセットは FPr1 および FPr2 の 2か所まで設定できます。フォーカスプリセット機能 (FPr1/FPr2) を使用するには、ディス プレイ上で AUX1/AUX2/EXEC スイッチに機能を割り付けたあと、MEMO 機能を割り付け たスイッチを使用して設定を行います。プリセット機能には、プリセット後のノブ操作の モードに、ワンショット (One-Shot) とコンティニュアス (Continu) の2種類のモードがあり、 ディスプレイの Preset 画面で選択可能です。 ワンショットモード時はプリセットしたフォー カス位置へ移動後、ノブ操作でプリセットが解除され、ノブ操作位置が示すフォーカス位 置に戻ります。コンティニュアスモード時はプリセットされた位置へ移動後、その位置か ら続けてノブ操作に追従してフォーカス調整が可能です。また、コンティニュアスモード でプリセットされた位置へ移動後、再びフォーカスプリセット機能を割り付けたスイッチ を押すと、プリセットが解除されます。(プリセット位置に到達するまでは、スイッチを押 してもプリセットは解除されませんのでご注意ください。)本デマンドのコントロール範囲 を制限する機能の実行時に、制限範囲外へのプリセットは実行されません。

ワンショットとコンティニュアスモードともに、以下のような場合にフォーカスプリセッ トが解除されますのでご注意ください。

- 1. フォーカスプリセット実行中に、実行しているフォーカスプリセットの割付けが 解除された場合(例:FPr1を実行中、スイッチの割付け変更を行ったり、ユーザー 切替えによって FPr1 を実行できるスイッチがなくなった、など)
- 2. フォーカスプリセット実行中に、フォーカスレンジリミット/ファインフォーカ スモード 1/ コントロールレンジリミット機能が実行された場合
- 3. フォーカスプリセット実行中に、ディスプレイ操作でワンショット/コンティニュ アスモードの設定が変更された場合

フォーカスプリセット位置を設定するには、設定する位置にフォーカスし、MEMO スイッ チを押しながら、フォーカスプリセット機能を割り付けたスイッチを押します。

*フォーカスプリセット後のコンティニュアスモード時、フォーカス特性カーブは Standard モード固定です。

4-4. IS 操作

IS(イメージスタビライザー)搭載レンズで、IS 機能の ON/OFF 操作を行います。IS 機能 の ON/OFF 操作を行うには、ディスプレイ上で、機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッチのい ずれかに割り付けることが必要です。

IS機能を実行する際は、IS機能を割り付けたスイッチを押します。詳細は、レンズの取扱 説明書をご覧ください。

4-5. トークバック(マイク)操作

使用カメラにトークバック機能がある場合、スイッチを押している間、エンジニア (ENG)、 プロデューサー (PD) とそれぞれ交信できます。トークバック機能 (ENG/PD) を使用するに は、ディスプレイ上で機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッチのいずれかに割り付けることが 必要です。

4-6. フォーカスレンジリミット機能

フォーカス範囲(被写体距離)に制限をかけることで、必要な範囲内でのフォーカス合わ せを可能にします。舞台などフォーカス範囲がある程度決まったシチュエーションで有効 です。ディスプレイ上で EXEC スイッチに機能を割り付けたあと、MEMO 機能を割り付け たスイッチを使用して設定を行います。

フォーカスレンジリミット範囲を設定するには、設定する位置にフォーカスし、MEMO ス イッチを押しながら、フォーカスレンジリミット機能を割り付けたスイッチを押します。 設定位置の目安として IND 画面を見ながら設定します。もう一方を設定するときは、いっ たん MEMO スイッチを離し、再度 MEMO スイッチを押しながら、フォーカスレンジリミッ ト機能を割り付けたスイッチを押します。

フォーカスレンジリミット機能を実行する際は、フォーカスレンジリミット機能を割り付 けたスイッチを押します。

4-7. ファインフォーカスモード 1 機能

フォーカス範囲に制限をかけ、動作範囲をノブ全域に広げることでフォーカス合わせの精 度を上げます。決まったフォーカス範囲で、より細かいフォーカス合わせを行いたいシ チュエーションで有効です。ディスプレイ上で EXEC スイッチに機能を割り付けたあと、 MEMO 機能を割り付けたスイッチを使用して設定を行います。

ファインフォーカスモード1の範囲を設定するには、設定する位置にフォーカスし、 MEMO スイッチを押しながら、ファインフォーカスモード 1 機能を割り付けたスイッチを 押します。設定位置の目安として IND 画面を見ながら設定します。もう一方を設定すると きは、いったん MEMO スイッチを離し、再度 MEMO スイッチを押しながら、ファインフォー カスモード1機能を割り付けたスイッチを押します。

ファインフォーカスモード1の機能を実行する際は、ファインフォーカスモード1の機能 を割り付けたスイッチを押します。

4-8. ファインフォーカスモード 2 機能

フォーカス調整範囲(被写体距離)を設定せずに、現在のフォーカス位置でフォーカス合 わせの精度を上げる機能です。これにより、実際のフォーカス調整範囲は制限を受けます。 ディスプレイ上で EXEC スイッチに機能を割り付けます。

ファインフォーカスモード2の機能を実行する際は、ファインフォーカスモード2の機能 を割り付けたスイッチを押します。

*ファインフォーカスモード2実行時は、フォーカス特性カーブは Standard モード固定です。

4-9. コントロールレンジリミット機能

デマンドの動作範囲に不感帯を設定することで、フォーカス調整範囲はそのままに、小さ い回転角で大きくフォーカス移動することが可能になります。テニスのラリーなど交互に ピントを合わせる際に最適です。ディスプレイ上で EXEC スイッチに機能を割り付けたあ と、MEMO機能を割り付けたスイッチを使用して設定を行います。

コントロールレンジリミット範囲を設定するには、操作ノブを設定する位置に合わせて、 MEMO スイッチを押しながら、コントロールレンジリミット機能を割り付けたスイッチを 押します。設定位置の目安として IND 画面を見ながら設定します。もう一方を設定すると きは、いったん MEMO スイッチを離し、再度 MEMO スイッチを押しながら、コントロー ルレンジリミット機能を割り付けたスイッチを押します。

コントロールレンジリミットの機能を実行する際は、コントロールレンジリミットの機能 を割り付けたスイッチを押します。

4-10. ワイパー操作(オプション)

ワイパー搭載レンズに接続したときに、ワイパーを操作することができます。ワイパーの 動作は、レンズ側の設定により異なります。ワイパー操作を行うには、ディスプレイ上で、 機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッチのいずれかに割り付けることが必要です。

4-11. 操作棒⇔サーボデマンド切替え機能(オプション)

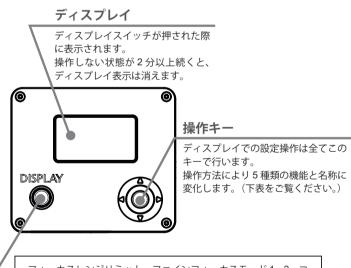
押引きサーボ搭載レンズに接続したときに、操作棒とサーボデマンドの操作切替えを行い ます。スイッチを押すごとに、操作棒⇔サーボデマンドと切り替わります。操作棒⇔サー ボデマンド切替え操作を行うには、ディスプレイ上で、機能を AUX1/AUX2/EXEC スイッ チのいずれかに割り付けることが必要です。

5 ディスプレイ操作

カスタマイズ機能

各種機能の設定を本体側面のディスプレイ上でメニューを選択して変更します。

5-1. ディスプレイ部



ディスプレイスイッチ

ディスプレイを表示する際、押し ます。1度押すとディスプレイが 表示され、もう1度押すと消え

フォーカスレンジリミット、ファインフォーカスモード1、2、コ ントロールレンジリミットのいずれかが、EXEC スイッチに けられている場合、ディスプレイスイッチを押すと、IND 画面に切 り替わります。

5-2. 操作キーの名称と操作方法

名称	操作	詳細		
Set ‡-	押す Set	画面表示に『』・』が出た場合や、選択を確定する際に押します。		
右キー	右方向に押す	画面表示に『▶』が出た際にキー操作が有効になります。		
左キー	左方向に押す	画面表示に『◀』が出た際にキー操作が有効になります。		
上キー	上方向に押す	画面表示に『▲』が出た際にキー操作が有効になります。		
下丰一	下方向に押す	画面表示に『 ▼ 』が出た際にキー操作が有効になります。		

5-3. TOP画面

Top画面には、6種類の設定/表示項目が用意されています。

Top 初期画面

EX NON A1 Memo A2 RET1 [State]

Top 画面構成

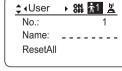
- 1. MENU 画面へ
- 2. ユーザー切替え
- 3. EXEC スイッチへの機能割付け
- 4. AUX1 スイッチへの機能割付け
- 5. AUX2 スイッチへの機能割付け
- 6. State 画面へ

5-4. MENU画面

設定/表示項目を機能ごとに分類しました。これらを総称してMENU画面といいます。

これらの画面を表示するには、Top画面にある [MENU]を選択し、Setキーを押します。初めにUser 画面が表示され、右キーまたは左キーを押すことで画面が切り替わり、ほかの画面が表示されま

User 画面



Switch 画面

\$ Switch ▶ †1 💾 🛨 EX EXEC: NON (A1) AUX1: Memo A2 AUX2: RET1

Preset 画面

‡∢Preset ▶ 🖺 🖼 🙏 Mode: One-Shot

Ctrl 画面



Fine2 画面

Level:

Info 画面

<u>→ 件① 器</u> Lens Soft

State 画面

\$ ∢State	→ ① ∰ ⅓ 1
IS:	OFF
EXEC: Continu:	OFF

5-5. 基本的な操作の流れ

- ① カメラの電源を入れます。
- ② ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを点灯させます。
- ③ 操作キーを使用して、各種設定をします。設定が保存されます。
- ④ ディスプレイスイッチを押して、ディスプレイを消灯させます。

[ディスプレイ設定一覧]

メニュー画面	ディスプレイ 表示	機能	デフォルト 値	選択 / 表示項目	
User 画面	No.	ユーザーを切替える	1	0/1/2/3/4/5/6/7/8/9	
	Name	ユーザーに名前を付ける	-	-/A/B/C \sim Z/a/b/c \sim z/0/1/2 \sim 9	
	ResetAll	リセットする			
	Сору	設定を他のユーザーにコピーする			
	Access	ロックモードを設定する	Unlock	Unlock/Lock	
Switch 画面	EXEC	EXEC スイッチに機能を割り付ける	NON	FRLt/FFM1/FFM2/CRLt/RET1/ RET2/RET3/Memo/FPr1/FPr2/IS/ (Wipe)/(PP)/ENG/PD/NON () 内はオプション	
	AUX1	 AUX1 スイッチに機能を割り付ける	Memo	RET1/RET2/RET3/Memo/FPr1/	
	AUX2	AUX2 スイッチに機能を割り付ける	RET1	FPr2/IS/(Wipe)/(PP)/ENG/PD/	
	RET1*	RET1 スイッチに機能を割り付ける	RET1	NON	
	RET2*	RET2 スイッチに機能を割り付ける	RET2	() 内はオプション	
Ctrl 画面	Curve	フォーカスカーブモードを設定する	5	1~9	
Fine2 画面	Level	微調倍率を設定する	Fine	Fine/Super/Ultra	
Preset 画面			One-Shot	One-Shot/Continu	
Info 画面	Lens	デマンド本体とレンズの通信状態を確認する		Connected/Non-Connected	
	Soft	ソフト情報を確認する		ソフトバージョンの表示	
State 画面	IS	IS 機能の ON/OFF を確認する		ON/OFF	
	EXEC	EXEC スイッチに FRLt/FFM1/FFM2/ CRLt のいずれかの機能を割り付けた場 合の機能の ON/OFF を確認する		ON FRLt/ON FFM1/ON FFM2/ON CRLt/OFF/-	
	Continu	フォーカスプリセット機能のコンティ ニュアスモードの ON/OFF を表示する		ON/OFF	
	PushPull*	操作棒による操作機能の ON/OFF を確認する		ON/OFF	

itch 画面の RET1, RET2, State 画面の PushPull はオプションメニューです。詳しくは、お買い求めになった販売店にお問い合わせくたさい

[エスケープ操作]

ユーザー0設定に切り替わります。この操作は、現在どのユーザー $(User\ 0 \sim 9)$ 設定であっても、 瞬時に User 0 設定状態(工場出荷設定状態)にジャンプすることができます。

- * Lock 中にこの操作はできません。
- *再電源投入時はエスケープ操作前のユーザーに戻ります。ただし、この操作後にユーザーを変更した場合は、変更後の ユーザーになります。



* Set キー以外でもディスプレイ部の上キー、下キー、左キー、右キーでも同様のエスケープ操作ができます。

[自動消灯機能]

Display が点灯状態のとき、スイッチ入力をしない状態が 2 分間継続すると Display は自動消灯 します。ただし、State 画面、IND 画面ではスイッチ入力がなくても自動消灯しません。

5-6. TOP画面で設定可能な機能

[ユーザーを切り替える]

設定可能なユーザーは User $0 \sim 9$ です。

User 1 \sim 9	使用するユーザーごとに詳細な設定が行えます。設定内容を保存できます。(* デフォルト値:1)			
User 0	一時的に設定変更し、使用できるユーザーです。設定内容を保存できません。			
	User 1 ~ 9 へ切替えを行ったり、電源 OFF を行った場合、設定内容は解除されます。エスケープ操作			
	を行ったときは User 0 にたります。User 0 を選択すると、丁場出荷時の設定にたります。			



[AUX1/AUX2/EXEC スイッチに機能を割り付ける]

各スイッチに以下の機能割付けが可能です。(同じスイッチに複数の機能の同時割付けはでき ません。) *操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

AUX1/AUX2 スイッチ				
ディスプレイ 表示	機能			
RET1	リターン 1(*AUX2 のデフォルト設定)			
RET2	リターン 2			
RET3	リターン 3			
Memo	メモリー (*AUX1 のデフォルト設定)			
FPr1	フォーカスプリセット 1			
FPr2	フォーカスプリセット 2			
IS	ISのON/OFF			
Wipe*	ワイパーの ON/OFF			
PP*	操作棒⇔サーボデマンド切替え			
ENG	トークバック (エンジニアとの交信)			
PD	トークバック(プロデューサーとの交信)			
NON	機能なし			

*Wipe、PP はオプションメニューです。詳しくは、お買い求めになっ た販売店にお問い合わせください。

FXFC スイッチ

EXEC A1:	7 7
ディスプレイ 表示	機能
FRLt	フォーカスレンジリミット
FFM1	ファインフォーカスモード 1
FFM2	ファインフォーカスモード 2
CRLt	コントロールレンジリミット
RET1	リターン 1
RET2	リターン 2
RET3	リターン 3
Memo	メモリー
FPr1	フォーカスプリセット 1
FPr2	フォーカスプリセット 2
IS	ISのON/OFF
Wipe*	ワイパーの ON/OFF
PP*	操作棒⇔サーボデマンド切替え
ENG	トークバック (エンジニアとの交信)
PD	トークバック (プロデューサーとの交信)
NON	機能なし (* デフォルト設定)

AUX1 スイッチへの割付け



AUX2 スイッチへの割付け

EXEC スイッチへの割付け

[State 画面に移動する]

Set キーを押すと、MENU 画面の State 画面に遷移します。

 $\blacksquare MENU \rightarrow \bigcirc \times 2 \rightarrow \bigcirc \rightarrow [State] \rightarrow Set$

5-7.MENU画面で設定可能な機能

5-7-1. User画面

[ユーザーを切り替える]

設定可能なユーザーは User $0 \sim 9$ です。

User 1 ∼ 9	使用するユーザーごとに詳細な設定か行えます。設定内容を保存できます。(アノオルト値:1)				
User 0	一時的に設定変更し、使用できるユーザーです。設定内容を保存できません。				
	User 1 ~ 9 へ切替えを行ったり、電源 OFF を行った場合、設定内容は解除されます。エスケープ操作				
	│ を行ったときは User 0 になります。User 0 を選択すると、工場出荷時の設定になります。				

■ MENU \rightarrow (Set) \rightarrow \diamondsuit (User \rightarrow \$# \bigstar \bigstar \bigstar \rightarrow \bigstar \bigstar \bigstar \bigstar \bigstar \bigstar

[ユーザーに名前を付ける]

- ユーザーごとに名前を付けることができます。
- *入力可能な文字数は8文字で、入力可能な文字は $A\sim Z$ 、 $a\sim z$ 、 $0\sim 9$ 、空欄です。
- *操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

[リセットする]

- 1 ユーザー分の設定もしくは全ユーザー分の設定をリセットできます。
- *「y」にカーソルを移動して、SET キーを押すと設定が初期化されます。

User: 選択中の1ユーザー分の設定を初期化

AllUser:0~9の全ユーザーの設定を初期化

(1) 1 ユーザー分の設定をリセットする

1ユーザーに設定された内容をリセットし、デフォルト値に戻すことができます。



(2) 全ユーザー分の設定をリセットする

全てのユーザーに設定された内容をリセットし、デフォルト値に戻すことができます。 *ユーザーを切り替えておく必要はありません。



[設定を他のユーザーへコピーする]

- ユーザーに設定されている内容を、他のユーザーへコピーすることができます。
- * " To No." でコピー先のユーザー No. を指定し、"Copy" の「y」にカーソルを移動して SET キーを押すとデータのコピー が始まります。(指定可能なユーザー No. は 0 \sim 9 です。)
- *操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

[ロックモードを設定する]

設定した機能が変更されないようにするため、特定の機能にロックモードを設定できます。ロッ クモード設定はユーザーに関係なく、一度設定すると全ユーザーに適用されます。

- * SET キーを押し、パスワードを入力すると "Lock OK?" のメッセージが表示されるので、カーソルを「y」に移動して SET キーを押します。Lock 状態では、プリセットデータ(フォーカスプリセット位置設定)、フォーカスレンジリミッ トの位置設定、ファインフォーカスモード1の位置設定、コントロールレンジリミットの位置設定以外の設定変更はで
- * User No. の表示部分に 0 から 9 の数字がある場合は、Unlock 状態を示します。User No. の表示部分に Lock の文字が ある場合は、Lock 状態を示します。
- *本機種には、パスワードを特別に設けておりません。毎回 Lock 操作を行う際に設定したパスワードが、Unlock 操作時 のパスワードとなります。したがって、パスワードは毎回メモを取っておくなどしてください。パスワードを忘れた場 合は、キヤノンまたは販売代理店にお問い合わせください。パスワードは未入力から最大8桁まで入力できます。
- *デフォルトは Unlock です。

パスワード入力可能文字

選択項目	(i) ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijkImnopqrstuvwxyz0123456789
文字数	最大8文字まで

(D):デフォルト値

5-7-2. Switch画面

[AUX1/AUX2/EXEC スイッチに機能を割り付ける]

各スイッチに以下の機能割付けが可能です。(同じスイッチに複数の機能の同時割付けはできません。)

*操作を行う前に、あらかじめ設定を行うユーザーに切り替えてください。

AUX1/AUX2 スイッチ

ディスプレイ 表示	機能
RET1	リターン 1(*AUX2 のデフォルト設定)
RET2	リターン 2
RET3	リターン 3
Memo	メモリー (*AUX1 のデフォルト設定)
FPr1	フォーカスプリセット 1
FPr2	フォーカスプリセット 2
IS	ISのON/OFF
Wipe*	ワイパーの ON/OFF
PP*	操作棒⇔サーボデマンド切替え
ENG	トークバック (エンジニアとの交信)
PD	トークバック (プロデューサーとの交信)
NON	機能なし

*Wipe、PP はオプションメニューです。詳しくは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

EXEC スイッチ

ディスプレイ 表示	機能			
FRLt	フォーカスレンジリミット			
FFM1	ファインフォーカスモード 1			
FFM2	ファインフォーカスモード 2			
CRLt	コントロールレンジリミット			
RET1	リターン 1			
RET2	リターン 2			
RET3	リターン 3			
Memo	メモリー			
FPr1	フォーカスプリセット 1			
FPr2	フォーカスプリセット 2			
IS	IS の ON/OFF			
Wipe*	ワイパーの ON/OFF			
PP*	操作棒⇔サーボデマンド切替え			
ENG	トークバック (エンジニアとの交信)			
PD	トークバック(プロデューサーとの交信)			
NON	機能なし (* デフォルト設定)			

AUX1 スイッチへの割付け

AUX2 スイッチへの割付け

EXEC スイッチへの割付け

5-7-3. Preset画面

[フォーカスプリセット後のノブ操作のモードを設定する]

下記の2つのモードから選択できます。

選択項目	One-Shot	Continu
動作	フォーカスノブ操作によって、フォーカス プリセットが解除され、ノブ操作位置が示 すフォーカス位置に戻る。 (* デフォルト設定)	フォーカスプリセット後の位置とノブ操作量に応じて フォーカス位置が動く。プリセット機能が割り付けられ たスイッチを押すと機能が解除される。解除後はノブ操 作位置が示すフォーカス位置に戻る。

5-7-4. Ctrl画面

[フォーカス特性カーブを設定する]

フォーカス特性カーブの設定を変更できます。

選択項目	1	~	D5	~	9
機能	カーブが大きい		デフォルト値		 カーブが小さい

5-7-5. Fine2画面

[微調倍率を設定する]

ファインフォーカスモード 2 の微調倍率が、「Fine」「Super」「Ultra」の中から設定できます。 微調倍率を設定することで、操作ノブの回転量に対するフォーカス移動量を変更することができます。

選択項目	Fine	Super	Ultra
機能	操作ノブ回転量に対するフォーカス移動量が 1/2 倍になる。 (* デフォルト設定)	探作/ ノ凹転重に刈りるノオー刀	操作ノブ回転量に対するフォー カス移動量が 1/5 倍になる。

*微調倍率を高くする(フォーカス移動量が少なくなる)と、フォーカス範囲は狭くなります。

5-7-6. Info画面

[デマンド本体とレンズの通信状態を確認する]

デマンドとレンズの通信状態を表示します。

表示項目	Connected	Non-Connected
状態	通信接続されています	通信接続されていません

[ソフト情報を確認する]

ソフト情報を表示します。

5-7-7. State画面

[IS の ON/OFF を確認する]

接続されているレンズの IS 機能の ON/OFF を表示します。

表示項目	ON	OFF
状態	IS 機能 ON	IS 機能 OFF

[EXEC スイッチに割り付けられた機能の ON/OFF を確認する]

EXEC スイッチに FRLt(フォーカスレンジリミット)、FFM1(ファインフォーカスモード 1)、FFM2(ファインフォーカスモード 2)、CRLt(コントロールレンジリミット)のいずれかの機能を割り付けた場合の割り付けられた機能の ON/OFF を表示します。

* FRLt(フォーカスレンジリミット)、FFM1(ファインフォーカスモード 1)、FFM2(ファインフォーカスモード 2)、CRLt(コントロールレンジリミット)が割り付けられていない場合は、『-』が表示されます。

$$\longrightarrow \text{MENU} \longrightarrow \text{Set} \longrightarrow \text{O} \longrightarrow \text{\updownarrow \cdot State} \longrightarrow \text{O} \longrightarrow \text{$\mathring{\pi}^1$} \longrightarrow \text{\diamondsuit} \times 2$$

[フォーカスプリセット機能 (コンティニュアスモード)の ON/OFF を確認する]

フォーカスプリセット機能のコンティニュアスモードの ON/OFF 状態を表示します。

フォーカスプリセット機能の実行後、プリセット機能により移動したフォーカス位置からその まま続けてノブ操作によるフォーカス操作が可能であるとき、ON が表示されます。

表示項目	ON	OFF
状態	コンティニュアスモードで フォーカスプリセットを実行している	コンティニュアスモードで フォーカスプリセットを実行していない

[操作棒による操作機能の ON/OFF を確認する](オプション)

接続されているレンズの押引き機能の ON/OFF を表示します。

*オプションメニューです。詳しくは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

表示項目	ON	OFF
状態	操作棒による操作機能 ON	操作棒による操作機能 OFF

$$\blacksquare MENU \implies \text{Set} \implies \textcircled{1} \implies \textcircled{2} \times 4$$

5-8.IND画面

EXEC スイッチに FRLt(フォーカスレンジリミット)、FFM1(ファインフォーカスモード 1)、FFM2(ファインフォーカスモード 2)、CRLt(コントロールレンジリミット)のいずれかの機能を割り付けた場合にのみ、ディスプレイスイッチを押すことで表示されます。上記の各機能の設定の際に、設定位置や範囲の目安として使用します。

[インジケーターの見方]

・フォーカスインジケーター(デマンドの出力するコントロールを示す。)



塗りつぶし範囲:操作可能なフォーカスコントロール範囲 白抜き範囲 :操作不可能なフォーカスコントロール範囲

- *出荷時には、フォーカスインジケーターの左端がコントロールの無限端、右端が至近端を示していますが、回転方向切替えスイッチによって、無限 / 至近の方向を切り替えた場合、インジケーターの無限 / 至近側も切り替わりますのでご注意ください。
- ・デマンドインジケーター (デマンドの位置を示す。)



塗りつぶし範囲: ノブ操作によりフォーカスコントロールの値が変化する範囲 白抜き範囲 : ノブ操作によりフォーカスコントロールの値が変化しない範囲

・現在位置指標(フォーカスインジケーター、デマンドインジケーターの指標で、各値の現在 の値を示す。)



塗りつぶし指標:割り付けられている機能が有効なとき制限される値を示す指標 白抜き指標:割り付けられている機能が有効なとき制限されない値を示す指標

• 記憶位置指標



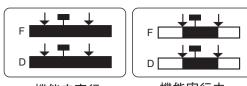
設定されている記憶位置を示します。

記憶位置設定が必要な機能では、MEMO機能を割り付けたスイッチを押しながら、記憶位置設定が必要な機能を割り付けたスイッチを押すことで、記憶位置が更新されます。また、MEMO機能を割り付けたスイッチを押している間、次に記憶される値を示す記憶位置指標は点滅で表示されます。

(点滅表示される記憶位置指標は MEMO 機能を割り付けたスイッチのみを押すことで切り替えることができます。)

[割付け機能ごとのインジケーター]

フォーカスレンジリミット

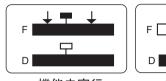


機能未実行

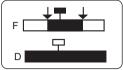
機能実行中

フォーカスコントロールの値とデマンドの操作位置の値を同時に記憶し、任意のフォーカスコントロールの範囲をデマンドのノブ操作位置と対応させて制限します。フォーカスインジケーター、デマンドインジケーターともに塗りつぶしの現在位置指標が表示され、記憶位置指標も表示されます。

ファインフォーカスモード1



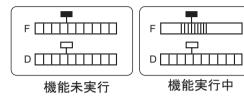




機能実行中

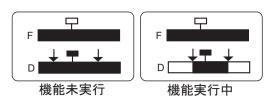
フォーカスコントロールの値を記憶し、任意のフォーカスコントロール範囲をデマンドノブ操作位置全域で操作可能なように制限します。フォーカスインジケーター に塗りつぶしの現在位置指標および記憶位置指標が表示されます。

ファインフォーカスモード2



現在のフォーカスコントロールの値を基準に設定された微調倍率にしたがって、操作可能なフォーカスコントロールの範囲が細かい格子表示となって示されます。フォーカスインジケーターに塗りつぶしの現在位置が表示され、記憶位置指標は表示されません。

コントロールレンジリミット



デマンドのノブ操作位置を記憶し、任意のデマンドのノブ操作範囲でフォーカスコントロール値の全域を操作可能なように制限します。デマンドインジケーターに塗りつぶしの現在位置指標および記憶位置指標が表示されます。

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。 これら危険防止の警告や注意事項にそった取扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。 この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。 また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告 文や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

全 警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
<u>^</u> 注意	取扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項 が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項 をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項または、推奨事項です。 ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能 性があります。また、操作上における有益な情報も記載されています。

取扱いについて

警告

- --- 水をかけたり、濡らしたりしないでください。 万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 2. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線などケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

注注意

- 1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
- 2. 取付け部は、しっかりと締め付けてください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
- 3. 定期的(目安として6か月~1年ごと)に取付け部に緩みが無いか点検してください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。

『ご注意ください』

- 1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
- 2. 本製品は防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、水滴に直接さらして使用しないでください。 故障の原因となることがあります。
- 3. 粉塵の多い場所でので使用には十分で注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
- 4. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめで相談ください。特殊な環境下で使用すると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について

/警告

万一下記のような異常が発生した場合には、ただちにケーブルを製品から抜いて、お求めになった代理店、または販売店までご連絡ください。

- ・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
- ・異物(金属や液体など)が製品内部に入ってしまった場合

保守・点検について

八警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、レンズやカメラから取り外してから行ってください。また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合 にはオーバーホールなどを行ってください。

保管について

『ご注意ください』

霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤(できるだけ新しい乾燥剤を使用)とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。カビや故障の原因となることがあります。

お客様へ

- 1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
- 3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
- 4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などにつきましては、お求めになった 代理店、または販売店までお問い合わせください。
- 5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。 この取扱説明書の一部または全部をキヤノン 株式会社の承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止されています。

5/5

キヤノン株式会社 〒 146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2